

副資材

使用用途	プライマー処理							3M™ ダイノック™ フィルム 貼り付け作業	3M™ ダイノック™ フィルム Dボード工法 取り付け作業	3M™ ダイノック™ フィルム 清掃・剥離作業			
	スタンダードタイプ プライマー		水性プライマー			マスキングテープ		スキージー	接着剤	両面テープ	清掃・剥離作業		
製品名	3M™ プライマー		3M™ 水性プライマー				スコッチ® シーリング・ マスキングテープ	3M™ スキージー	3M™ 化粧 パネル用ボンド	3M™ ポリエチレン フォームテープ	3M™ クリーナー-20	3M™ クリーナー-30	
品番	EC-1368NT	DP-900N3	WP-137M	WP-246	WP-2000	WP-3000	79H	PA1-WHITE, PA-4, PA-5	IB25	MIX-313	CLEANER20	CLEANER30	
製品仕様・ 特長	種類	合成ゴム系	合成樹脂系	合成樹脂系	合成ゴム系	合成ゴム系	合成樹脂系	青色平面紙にアクリル系粘着剤を塗布した片面粘着テープ。プライマー塗布時に、不要部分への塗布を防ぐためにマスキングします。	ダイノック™ フィルムを貼り付ける際に最適な圧着用具。やわらかい布などを巻きつければ、繊細な表面性のシリーズの貼り付け作業でもご使用いただけます。	内装仕上げのDボード工法に適した弾力性接着剤。Dボード工法の2次接着剤として使用して頂けます。	ポリエチレンフォーム基材の両面にアクリル系粘着剤を塗布した両面粘着フォームテープ。クッション性のある汎用テープとして、Dボード工法の1次接着剤として優れた接着力を発揮します。	ダイノック™ フィルムを傷めず汚れをおとすエアソール式のクリーナーです。主成分は天然の柑橘油で、石油系溶剤は含んでいません。フィルム表面の清掃には使用しないでください。使用後に錆を発生させる心配はなく、簡単に水洗いできます。柑橘系の香りでさわやかな使用感です。	すぐれた浸透力で様々な汚れを溶解する洗浄力の高いクリーナーです。主成分は天然の柑橘油で、石油系溶剤は含んでいません。フィルム表面の清掃には使用しないでください。使用後に錆を発生させる心配はなく、簡単に水洗いできます。柑橘系の香りでさわやかな使用感です。
	塗布基材・ 特長	下記の表をご覧ください	下記の表をご覧ください	下記の表をご覧ください	下記の表をご覧ください	ケイ酸カルシウム板・石こうボード専用水性プライマー	小口、端部専用水性強力(※)プライマー ※短時間で接着力が高くなります。	・厚さ / 0.09mm ・引張強さ / 34.0N/cm ・伸び / 7% ・接着力 (180度方向) 1.2N/cm ・特長 ○強度に優れた基材を使用しているため、テープ剥離時になめ切れにくい。 ○直線性に優れた基材を使用しているため、真っ直ぐに貼りやすい。 ○基材は腰がありしっかりとしているが、手切れ性にも優れている。	・種類/弾力性接着剤 ・主成分/シリル化ウレタン樹脂系 ・外観/白色ペースト状 ・特長 ○原材料に厚生労働省指針値策定(2002年1月22日)の13物質を使用していない。 ○建築基準法・ホルムアルデヒド発散建築材料の告示対象外であり、日本接着剤工業会の自主規格制度に登録している。(JAIA-008610 F☆☆☆☆)。	・主成分 / イソプロピルアルコール ・色 / 透明	・主成分 / 柑橘油 ・色 / 透明		
	容量(サイズ)	1ℓ / 18ℓ	1ℓ	2ℓ	4ℓ	4ℓ	120mℓ	15mm×18m / 18mm×18m	下記参照	333mℓ	20mm×15m	330mℓ	330mℓ
	参考塗布量	10~15㎡/ℓ (希釈後)	15~30㎡/ℓ (覗い込みのない下地の場合)	15~30㎡/ℓ (希釈後)	15~30㎡/ℓ (希釈後)	15~30㎡/ℓ (希釈後)	1.2㎡/缶 (希釈後)						
	色	黄褐色	白色透明	青色	青白色	青白色	乳白色						
	固形分	約25%	約12%	約37%	約46%	約48%	約40%						
	粘度	200mPa・s	4.5mPa・s	300~1200mPa・s (23°C)	約50mPa・s (20°C)	2400mPa・s	500mPa・s						
	有効期間	当社出荷後6ヶ月以上貼付ラベル使用可能期限まで	ご購入後1年以内	ご購入後6ヶ月以内	ご購入後6ヶ月以内	ご購入後1年以内	ご購入後1年以内						
	F☆☆☆☆ 認定番号	MFN-1828	JAIA-011050	JAIA-009690	JAIA-010885	JAIA-004046	JAIA-005218						

副資材をご要望の方は、お問い合わせください。

貼り付け基材別下地調整

各種下地基材(横列)に対して、縦列の手順に従って下地処理を行ってください。

不燃下地	石こうボード ケイ酸カルシウム板	モルタル	焼付塗装鋼板 電気亜鉛めっき鋼板	アルミニウム*2 ステンレス	ガラス	一般下地	シナベニヤ ラワンベニヤ	MDF	塩ビ鋼板 重ね貼り	メラミン板 ポリエステル板	アクリル/ABS 人造大理石 硬質塩ビ
前処理	釘頭処理	金ゴテ仕上げ 乾燥状態確認(注)	サビ、異物の除去	サビ、異物の除去		前処理	釘頭処理	釘頭処理	表面状態確認	釘頭処理	
パテ処理 (注2)	粉体パテ ※3 エマルジョンパテ ※4	粉体パテ ※3 エマルジョンパテ ※4	ポリエステル系パテ ※5	ポリエステル系パテ ※5		シーラー処理 (注1)	水性シーラー ※1 溶剤系シーラー ※2	水性シーラー ※1 溶剤系シーラー ※2	ポリエステル系パテ ※5	ポリエステル系パテ ※5	ポリエステル系パテ ※5
表面処理	#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー	グラインダー (突起・溶接部) #180 サンドペーパー (平面部)	グラインダー (突起・溶接部) #180 サンドペーパー (平面部)		パテ処理 (注2)	粉体パテ ※3 エマルジョンパテ ※4	ポリエステル系パテ ※5	ポリエステル系パテ ※5	ポリエステル系パテ ※5	ポリエステル系パテ ※5
表面清掃	アルコール ラッカーシンナー	アルコール ラッカーシンナー	アルコール ラッカーシンナー	アルコール ラッカーシンナー	アルコール ラッカーシンナー	表面処理	#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー	#180 サンドペーパー
プライマー処理 (注3)(注7)	WP-137M WP-246 WP-2000 EC-1368NT DP-900N3 全面	DP-900N3 全面	WP-137M *1 EC-1368NT DP-900N3 端部	WP-137M EC-1368NT 端部		表面清掃	アルコール ラッカーシンナー	アルコール ラッカーシンナー	アルコール ラッカーシンナー	アルコール ラッカーシンナー	アルコール ラッカーシンナー
塗布部分	全面	全面	端部	端部		プライマー処理 (注3)(注7)	WP-137M WP-246 EC-1368NT DP-900N3 全面	WP-137M WP-246 EC-1368NT DP-900N3 全面	DP-900N3 全面	DP-900N3 全面	DP-900N3 全面
注意事項	WP-137M、WP-246、DP-900N3はAM、HG、VMシリーズ(VM-MTを除く)を施工する際には不燃認定に適合しません。法規上、不燃が要求されない箇所では使用可能です。	モルタル打設後、3週間以上乾燥させてください。	右記(注4)(注5)参照。 *1 WP-137M は焼付塗装鋼板には適しません。	DP-900N3を使用した場合、接着不良を起こす場合があります。 *2 アルミニウムは不燃にならない場合があります。	右記(注6)参照。	塗布部分	油分を十分にふき取ってください	必ずシーラーを塗布してください。 プライマー塗布後、小口も十分に乾燥させてください。			

下記他社製の副資材については各社の最新情報をご確認ください。

- 水系シーラー
 - ※1 マイティシーラーマルチ(大日本塗料)
 - ※2 マイティシーラーS(大日本塗料)
- パテ
 - ※3 タイガージョイントセメント(吉野石膏)
 - ※4 WD/パテ仕上げ用(中央ペイント)
 - ※5 ポリエステル系パテ 極120(ソラー) NEOX 中間パテ120(関西ペイント)

- 注1 シーラーは下地基材の吸い込み調整と、下地基材からのアクやアルカリを止める働きがあります。
- 注2 パテは、下地基材のつなぎ部分やへこみを埋める際に使用します。パテ使用後、サンドペーパーなどで平滑に仕上げます。
- 注3 プライマーは下地基材との接着性向上のために使用します。特にDP-900N3は下地基材からのアルカリや可塑剤の影響を止める効果があります。プライマーの乾燥時間は、EC-1368NT・DP-900N3・WP-137Mは30分以上、WP-246は1時間以上、WP-2000・WP-3000は2時間以上です。ただし、冬季(10°C前後)にWP-137Mを使用する場合は1時間以上、WP-246を使用する場合は2時間以上、DP-900N3を使用する場合は3時間程度必要です。WP-137M、WP-246、DP-900N3を使用して、AMシリーズ、VMシリーズ(VM-MTを除く)、HGシリーズを不燃材料(金属板を除く)に施工する場合は、国土交通省防火認定番号(NM-3108、3137)に適合しません。EC-1368NTもしくはWP-2000をご使用ください。
- 注4 塗装下地に貼る場合は、塗装と下地との密着性を確認してからフィルムを貼り付けてください。塗装の密着性が十分でないと、施工後にフィルムが浮いたり剥れたりする恐れがあります。プライマーはDP-900N3もしくはEC-1368NTを使用しただけ薄く端部に塗布してください。EC-1368NTはDP-900N3に比べて、フィルムを貼り付けた後に剛毛ムラが目立つ場合がありますので、事前に外観を御確認下さい。なお、事前にプライマーを目立たない場所に塗布し、塗装を侵さないことを確認してください。
- 注5 鋼板に錆止め塗装をする場合、JIS規格に適合するものをご使用ください。
- 注6 ガラスへの施工時の注意事項
ガラスに貼る場合は汚れを除去してから直接貼り付けてください。直射日光が当たる場合は、ガラスが熱割れを起こす恐れがありますので、ご注意ください。
日射が当たる外壁ガラス室内側への施工は、紫外線により粘着剤が劣化するため、お勧めしません。
屋外のガラスに貼り付けする場合は、雨水の影響を受けない部位に施工してください。雨水の影響により、フィルムが剥がれてくる恐れがあります。
- 注7 小口、端部にWP-3000を使用する場合、次の下地基材で使用可能です。
石こうボード、ケイ酸カルシウム板、電気亜鉛めっき鋼板、シナベニヤ、ラワンベニヤ、MDF、ポリエステル板